



2024年7月22日

各 位

会社名： 株式会社 小野 測 器
代表者名： 取締役社長 大越 祐 史
(コード番号6858 東証スタンダード)

問合せ先： 取締役
常務執行役員 濱 田 仁
(TEL. 045-514-2601)

2024年12月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2024年1月30日に公表した2024年12月期第2四半期（累計）連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。なお、通期業績予想については変更はございません。

記

1. 2024年12月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2024年1月1日～2024年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	6,100	70	90	1,350	127.71
今回修正予想（B）	5,084	△478	△457	884	83.12
増減額（B-A）	△1,015	△548	△547	△465	—
増減率（%）	△16.7	—	—	△34.47	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （2023年12月期第2四半期）	5,097	△374	△349	△484	△46.32

2. 業績予想修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、雇用や所得環境の改善により、経済活動が活発化する一方、エネルギー価格及び原材料価格の高止まりや物価の上昇、不安定な為替相場など、引き続き先行き不透明な状況が継続しております。

このような事業環境のなか、受注残高は増加しておりますが、売上予定であった案件が先送りとなったことや、原材料価格や外注費の上昇、拡販活動の活発化等によりコストが増加したこと等により、売上高、利益ともに下方修正いたします。

下期では当期の売上原資となる計測機器の受注回復が予想されております。特注試験装置及びサービスにおいては、特に特注試験装置の受注が伸びておりますが、お客様指定納期が翌事業年度となる案件が多く、一方で修理・校正等のアフターサービスや受託試験などのエンジニアリング領域は好調に推移しております。通期業績につきましては、このように当連結会計年度の売上原資となる受注残が一定程度確保できていることから、売上高、利益ともに上期の減少分を補い期首の予想を達成できるものと現時点では判断し、2024年1月30日に公表しました連結業績予想値を据え置くこととしました。

今後につきましては、新規受注の獲得、販売強化、業務の効率化、コストダウンを推進し、通期業績予想の達成に注力してまいります。

なお、2024年5月に予定しておりました旧本社の土地・建物の売却は計画通り完了し、特別利益（固定資産売却益）1,851百万円を計上致しました。上記の四半期純利益及び通期予想の当期純利益には、当該特別利益を含めて公表しております。

（注）上記の予想につきましては、現時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

以上